

# 華誠の知的財産権ニュースレター



2022年01月 第五十七期

## 目次

### 華誠の動向

華誠が「2022 チェンバース大中華地区法律ガイド」知的財産権訴訟の分野のランキングで再び上位を獲得	2
The Legal 500 が 2022 チェンバースアジア太平洋地区ランキングを発表、華誠が知的財産権訴訟と非訴訟の分野で再びランクイン	2

### 特許

2022年1月1日からユーロで決済される PCT 出願料が微調整へ	2
2022年1月1日から Word 以外の文書で提出した出願書類に米国特許庁が追加費用を徴収	3
2022年から米国特許商標庁が特許と商標の電子証明書を発行	3

### 商標

重大発表、中国商標ブランド発展指数（2021）	3
-------------------------	---

### 知的財産権

「2021年全国知的財産権サービス業統計調査報告書」の全文を公布	4
中華人民共和国国務院新聞弁公室が 2021 年知的財産権関連作業の統計データ発表会を開催	5



公式サイト：[www.watsonband.com](http://www.watsonband.com)

Eメール：[mailip@watsonband.com](mailto:mailip@watsonband.com) | [mail@watsonband.com](mailto:mail@watsonband.com)

## 華誠の動向

### 華誠が「2022 チェンバース大中華地区法律ガイド」知的財産権訴訟の分野のランキングで再び上位を獲得

このほど、国際的な権威のある法律格付けガイド「チェンバース大中華地区法律ガイド」(Chambers Greater China Region Guide) が最新の 2022 年度のランキング状況を発表した。華誠はずっと保ってきた専門的なサービスの品質と業界での良好な評判により、知的財産権訴訟のランキングで再び上位にランクインしている。

「チェンバース大中華地区法律ガイド」は、チェンバース市場をリードする「チェンバースアジア太平洋地区ガイド」から焼き直したもので、企業の法務チーム、業務チームと法律チーム、個人ユーザーおよびその他の法律サービスを求めるクライアントに、優れた法律事務所や法律関係者に最適な市場分析情報と洞察を提供している。

---

### The Legal 500 が 2022 チェンバースアジア太平洋地区ランキングを発表、華誠が知的財産権訴訟と非訴訟の分野で再びランクイン

このほど、「リーガル 500」(The Legal 500) 2022 アジア太平洋地区ランキングが正式に発表された。華誠は知的財産権訴訟と知的財産権非訴訟の 2 大分野のランキングで再びランクインし、優秀な成績を収めた。

当該ランキングにおいて、華誠が獲得した推薦コメントは以下の通りである。

“Watson & Band’s team, which includes both lawyers and agents, is equally strong in contentious and non-contentious work, and advises a number of well-known multinational companies from the tech and fashion sectors. The firm, which has an extensive office network covering most of China’s major cities, is experienced in both trademark and patent issues, assisting with licensing, filing and prosecution. Managing partner Jean Yang is one of the key team members, while Jianguo Huang focuses on patent litigation.

Other key lawyers include Joe Liu, Xiaobo He, Cathy Wu, Hua Xiao, Yingcong Xu, Liming Zhang and Guohua Tang”

— The Legal 500

## 特許

### 2022 年 1 月 1 日からユーロで決済される PCT 出願料が微調整へ

フィンランド特許登録局 (PRH) のウェブサイトによると、ユーロからスイスフランへの為替レートが変化したため、世界知的所有権機関 (WIPO) は以下の PCT 出願関連の費用を修正することを決定した。新しい費用徴収は 2022 年 1 月 1 日に発効する。WIPO のサイト ([www.wipo.int/export/sites/www/pct/en/fees.pdf](http://www.wipo.int/export/sites/www/pct/en/fees.pdf)) を通じて、より多くの内容を照会できる。

## 特 許

### 2022年1月1日から Word 以外の文書で提出した出願書類に米国特許庁が追加費用を徴収

最近、米国特許商標庁は、2022年1月1日から Word 文書（即ち、拡張子 .docx を有する文書であり、PDF 形式の文書には追加費用の納付が必要である）で提出されていないすべての非仮出願に対して 400US ドルの追加費用を徴収すると発表した。

IPRdaily より

---

### 2022年から米国特許商標庁が特許と商標の電子証明書を発行

米国特許商標庁 (USPTO) は、USPTO に知的財産権の保護を求める発明者や企業家のニーズに応えるために、2022年から特許と商標登録の電子証明書の発行を開始する。

IPRdaily より

## 商 標

### 重大発表、中国商標ブランド発展指数（2021）

2021年12月24日、国家知識産権局知識産権運用促進司が中華商標協会を指導し、「中国商標ブランド発展指数（2021）」を作成・発表し、2020年の全国各省（自治区、直轄市）の商標ブランド発展総合レベルについて指数測定評価を行った。測定評価によると、2020年度は広東省、浙江省、北京市、江蘇省、上海市などの商標ブランド発展指数が全国の上位となっている。中国の商標ブランドの発展状況は全体的に良好であるが、「東高中西低」、「南強北弱」の地域差は依然として顕著である。経済の強い省の優位性は明らかで、しかも拡大傾向にある。

## 商 標

中国商標ブランド発展指数（2021）の獲得ポイントとランキングの結果（トップ10）

省	中国商標ブランド発展指数の獲得ポイント	ランキン グ	A1. 商標ブランドの運用推進の獲得ポイント	Q2. 商標ブランドの品質発展の獲得ポイント	P3. 商標ブランドの潜在力発掘の獲得ポイント	E4. 商標ブランドの環境最適化の獲得ポイント	B5. 商標ブランドの効果実現の獲得ポイント
広東	89.31	1	99.15	89.58	88.61	77.39	85.31
浙江	88.87	2	95.72	93.30	86.61	78.95	84.70
北京	87.68	3	93.63	76.20	83.80	81.32	99.38
江蘇	86.41	4	91.45	87.59	92.58	80.53	77.26
上海	85.66	5	91.43	72.59	89.67	82.94	89.35
山東	81.84	6	84.84	91.29	77.24	75.38	77.34
福建	78.21	7	81.93	75.80	74.08	81.65	76.71
四川	74.78	8	71.59	81.14	76.27	73.81	71.64
安徽	73.67	9	72.56	71.29	73.14	83.26	70.80
湖北	73.60	10	67.18	79.83	72.50	81.10	71.41

中華商標協会 より

## 知的財産権

### 「2021年全国知的財産権サービス業統計調査報告書」の全文を公布

このほど、国家知識産権局が「2021年全国知的財産権サービス業統計調査報告書」を公表した。報告書では、調査試算によると、2020年末までの中国における知的財産権サービス業従業員は約86.5万人で、2019年末比5.6%増となったことを取り上げている。

知的財産権サービス業の発展は整理統合期に入り、2020年に新たに設立された機関は9,500を超えた。大量の新機関が参入すると同時に、合併買収、合併、倒産などの原因で撤退した機関の数は約6,000で、業界の整理統合態勢が初めて見受けられた。

2020年末までに中国で弁理士の資格を取得した人数は5,3090人まで増加し、就業している弁理士は23,193人に達し、年間増加率は14.9%となった。業務チームは持続的増加の勢いにおいて、中国の弁理士業界の人員規模が盛んに発展している良好な勢いを示している。

国家知識産権局 より

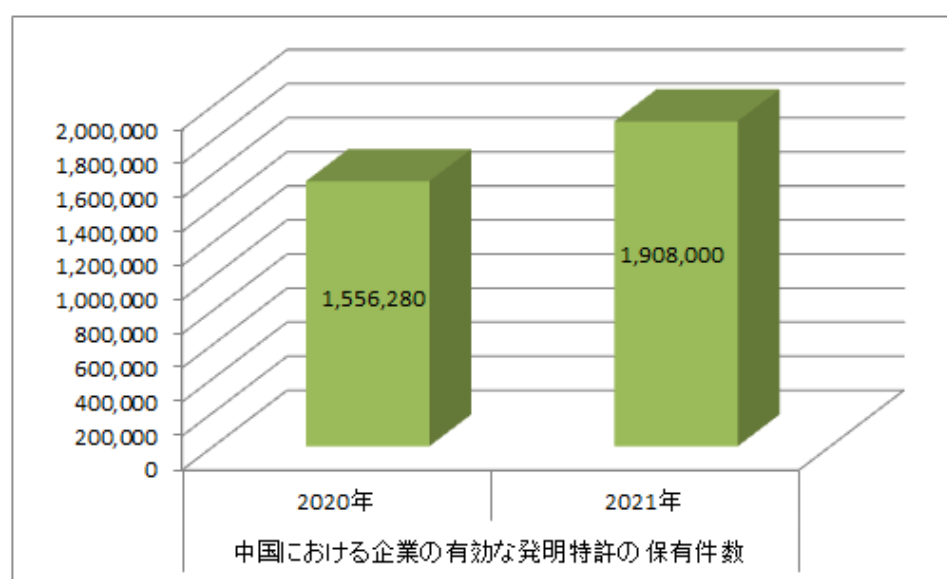
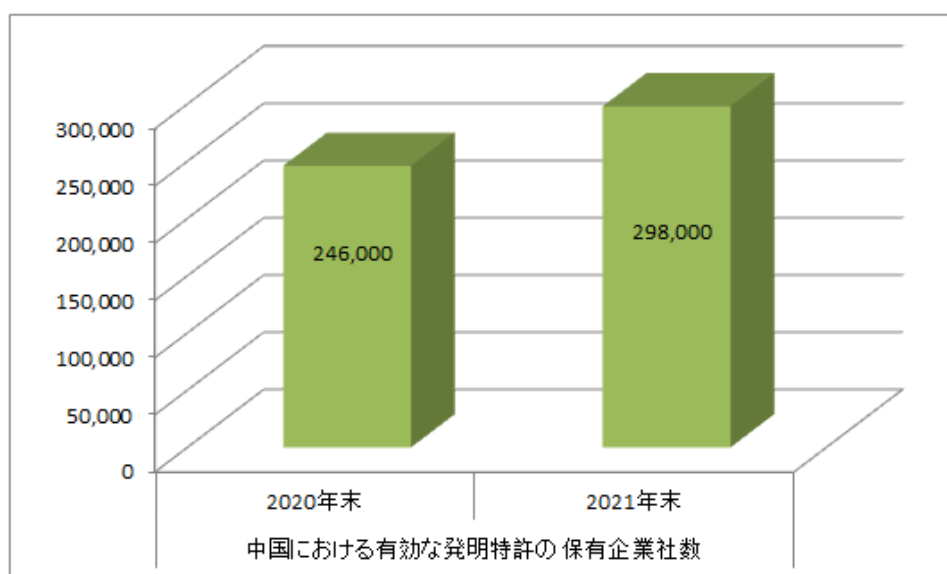
## 知的財産権

### 中華人民共和国国務院新聞弁公室が 2021 年知的財産権関連作業の統計データ発表会を開催

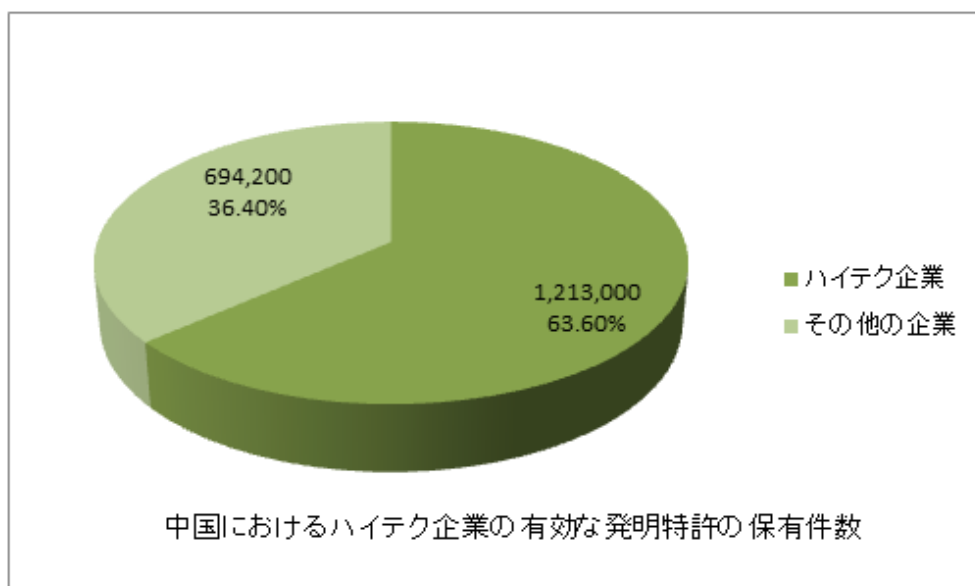
2022 年 1 月 12 日午前 10 時、中華人民共和国国務院新聞弁公室が記者会見を開催した。会見では、国家知識産権局の関係部門の責任者に 2021 年の知的財産権関連作業の統計データを紹介してもらい、記者の質問にも答えた。

国家知識産権局副局長兼弁公室主任、スポークスマンの胡文輝は発言の中で、各種統計データから見ると、2021 年における中国の知的財産権の作業は全体的に 4 つの特徴を示していると総括した。

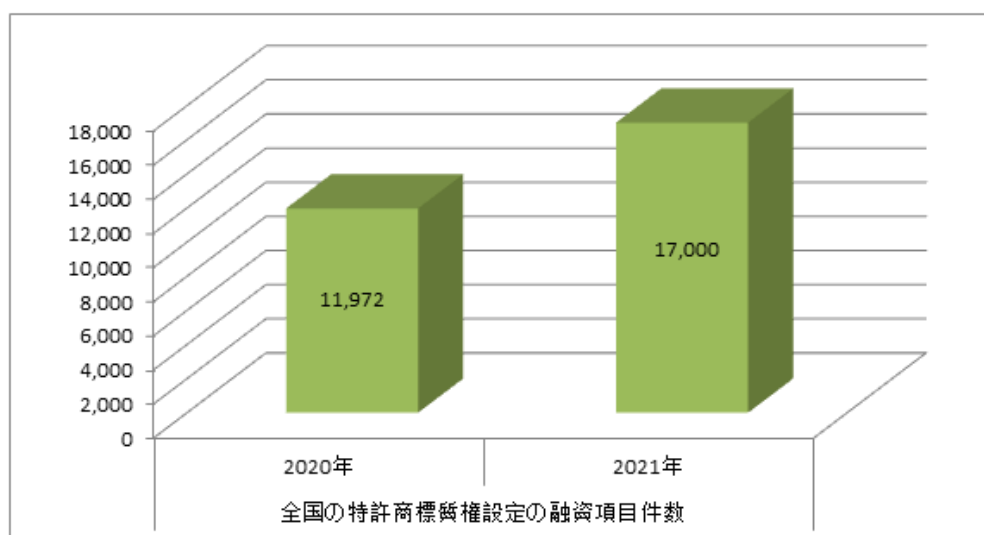
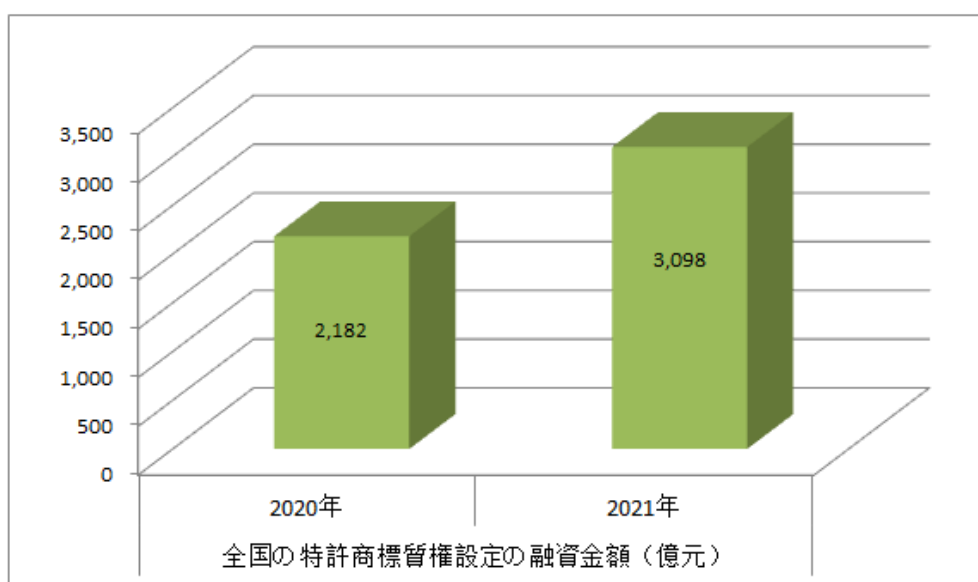
1、国内市場主体の革新的活力がさらに刺激された。



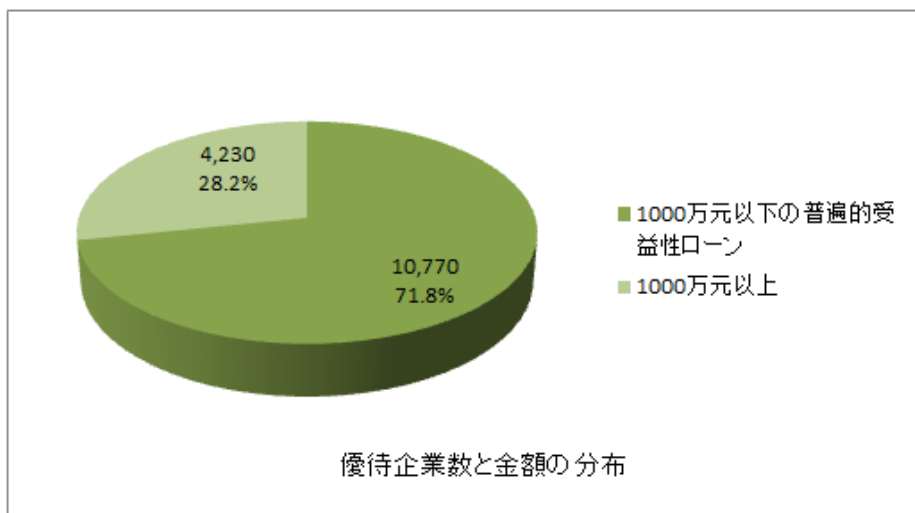
## 知的財産権



2、特許商標質権設定の融資規模がさらに拡大し、普遍的受益性がさらに顕著である。



# 知的財産権



世界知的所有権機関が区分した 35 の技術分野の統計によると、2021 年末までで中国国内の発明特許の有効件数の増加が最も速かった 3 つの分野は、情報技術管理方法、コンピュータ技術及び医療技術であり、それぞれ同期比で 100.3% 増、32.7% 増、28.7% 増であった。

#### 4、外国企業が中国の知的財産権保護の自信をさらに強めた。

